

森松マン工場見学へ行く！

森松営業部一同、
永興化成(株)様、(株)カツロン様の
工場を見学させていただきました。
貴重な時間をありがとうございました。



(株)カツロン様では押出成形を学び、永興化成(株)様では再生シートなどの生産工程を見学する事ができました。まだまだ知らない事の方が多いですが、様々な商品や加工方法を知り、活用していきたいと思います。

柳原

森松の伝統、文化

森 直樹 (代表取締役社長)



会社が存続している年数の長い、短いに関わらず、その会社の 伝統、文化といった会社独自のものが有ると思います。それはその会社の「社是」や「企業理念」、「ミッション」といったものに現れているものかもしれません。また、言葉では表されていない、その会社の「空気」もその会社の伝統であり文化ではないでしょうか。それは同時にその会社のリーダーが代々受け継ぎ、進化発展させていくべき物だと思います。では森松の伝統、文化とは何でしょう？ モーリン語録の言葉から抜き出すと「利は元にある」、「前例に無い、だからやれ」、「今ここ私」これらの言葉に凝縮されると思います。仕入先があつての商売(利は元にある)、先進の情報を取り、商売に繋げる(前例に無い、だからやれ)、自分で考え行動する(今ここ私)。決して特別な事では無いかもしれませんが、これからも森松が存続していく上で各自が念頭に置いて行動する事であり、それが経験として積み重なる事で、無意識に出来る事が森松マンのあるべき姿だということです。まだまだ私自身、不十分なところもありますが経験が長く、実績を残している人ほどこれらの事が出来ています。仕入先、得意先の皆さんからこのような評価が得られるよう、自身の行動を振り返りつつ日々仕事に取り組んでいきます。

還暦 はだか祭

光田 昭男（営業部）



愛知県稲沢市の国府宮神社で、はだか祭に参加してきました。『国府宮はだか祭（難追神事）』は、奈良時代の神護景雲元年（767年）に始まったという歴史ある難追（なおい）神事。岡山の西大寺会陽、山口防府天満宮の御神幸祭と並ぶ「日本三大裸祭り」のひとつです。難追神事は「難を追う」、つまり厄除けの神事のことです。私は、還暦での参加なので、本当は赤ふんどしでの参加になるのですが、赤色はとても恥ずかしいので、白色で、参加させていただきました。今回で、四回目の参加になります。地元の知り合いがいないと、なかなか参加することも難しいのですが、はだか祭では有名な町内になる、小池三丁目に住んでいる村田さんのお世話になり、参加することが出来ています。小池三丁目は、何故有名なのか、神男が神殿に、入れるようにアシストする桶部隊が、小池三丁目の町内から選ばれる勇士なのです。もう一つは、難追布をつけたなおい笹を、奉納するのが最後なので一番目立ちます。難追布（なおいぎれ）とは、祭りの主役である難追人が布を割いて作る厄落としグッズの事です。この難追布に氏名・年齢を書くことで厄落としができると言います。皆の願いが託された難追布を回収し、奉納するのがはだかの男たちの役目なのです。はだかの男たちによって回収された難追布は「難追笹」という竹にくくりつけられ神社の拝殿まで「わっしょい！わっしょい！」と皆で担いで、約3キロ先の国府宮神社へ奉納します。今回は、気温も比較的高く、辛いことはなかったですが、やはり2月に、裸で野外にいるのですから寒



いですね。大事なところも検索が必要な位に小さくなっています。今回は、6名が村田さんにお世話になりました。はだかになったのは5名です。お酒を飲んで酔わないと寒さに耐えられませので、今回は、全員が電車で国府宮駅に集合しました。村田さん、4回も参加させていただきありがとうございました。腕に巻いた難追布と大鏡餅のおすそ分けは、知り合いのがんと闘っている方に差し上げました。

「日本タクシーさん」の「神対応」に感謝

伊東 郁二（特販部）



大阪でタクシーに乗り、行き先を告げて暫くすると携帯電話がなった。通話中に目的地に着いたので、電話をしながら小銭入れから支払いをし、会釈してタクシーを降りた。昨今のタクシーは、何も言わなくても領収書をくれるがこれが功を奏した。商談を終え、お客さんと会食をして、宿泊しているホテルに帰った。ホテルの下のコンビニに立ち寄り、小銭入れが無いことに初めて気付く。中には数千円程度しか入っていないが、「破れかけた小銭入れを見た長女」がプレゼントしてくれた「特別な小銭入れ」だったのでさあ大変。一瞬で酔いが覚めました。まずは、会食した店に電話を入れ、小銭入れが無いか？確認する。会食時間と店内の席、コートのポケットに入れているのでコート入れに落ちていないか・・・いろいろと話をする。即答で「無いです！」と言われる。「席のコート入れを見てももらえないか...？」と言っても、「無いです」の一点張り。念のためにタクシー会社へも電話を入れる。車番・下車した時間を言うと、調べて折り返し電話をくれるとのこと。「サービスがいいなあ...でもないだろうなあ...」と 思い待つこと10分。「財布、ありましたよ！」との回答。そのタクシーは今、「Aの辺を走っている...」とのことだが、私は出張族なので地理が解からないことを告げる。そして、今、「宿泊しているホテルにいること」を告げる。いろいろとやり取りの末、「ホテルまでお持ちするので30分ほどお待ちください。ホテルの前に到着したら電話します。」との回答。ホテルの下のコンビニで、温かいブラック珈琲・微糖珈琲・お茶・走りながら食べられる小さめのカステラを買い、お礼を言って小銭入れを受け取る。「ここまでのタクシー代を支払う」と と言っても、受け取らない。昨今、「ここまでサービスしてくれるタクシー会社があるんだ...」と感激した。電話に出た配車係の神対応、運転手さんには、本当に感謝感謝だ。会食した店にも電話を入れてお詫びをする。「平成」から「令和」の時代に突入したが、「神対応」は引き継がれるのだろうか？最近、財布や携帯電話をよく忘れる「昭和」生まれ。この先、大丈夫だろうか？

愛車

山口 治剛（製造部）



一昨年の冬にいつも車検を頼んでいるブローカーの人に「そろそろ走行距離が100,000キロなので、タイミングベルトやウォーターポンプを変えたほうがいいかな〜？」と訊ねたところ「このエンジンは丈夫だから120,000キロ位まで大丈夫だよ」と言われて安心しました。でも2年後の車検までには、タイミングベルトもそうだしラジエーターの水漏れもしているし、あちこちガタが出る頃なので、そろそろ買い替え時かなと思いました。情報誌、新聞広告などあれこれ見るようにしていたんですが、これといってピンとくる物が見つからない状況で1年が過ぎてしまいました。そういう状況で暇を見つけては、中古車まわりをしているとミニの専門店に出会いました。そこで車を見ているとこれだったら、憧れていたミニに手が届くんじゃないかなと思いました。通い始めて4回目ぐらいの時、サーフブルーで内装は白の革張り、クーパーSのクロスオーバーとMTシフトも付いている車を見つけ、これしかないと購入を決めました。20年位前に昔の小さいローバーミニを乗っていましたが、ハンドルはパワー



ステアリングでは無いし通常走行ではいいのですが、いったん渋滞にはまると水温が上昇し、オーバーヒートを起こす厄介者でした（これはこれで愛着があり好きだった）。新しい車は、ストレスも一切無いしBMWが作っている事もあり高速安定性も抜群にいいものだと感じました。久々にわくわくできる車に出会い感動しています。

復活、スープラ

橋野 徳明（製造部）



17年ぶりにトヨタとBMWの共同開発により復活したスープラ。日本発売は2019年春頃を予定している。今回は3L直6ターボ、2L直4ターボの2種類。全車種8速ATの設定でMT設定が無いのがちょっと残念。価格は448万～690万位になりそうだ。スープラは1978年から2002年まで生産され、その中でも3代目のA-70型のスープラが好きでした。今回のスープラもスタイリッシュでカッコイイ。各メーカーもスポーツカー離れをしていた時代から最近ではスポーツカーに力を入れているように見える。今後はセリカ、MR-2が出て来るのに期待したい。



甲冑ミュージアムは



今日もたくさん笑顔で溢れています！！



4月12日(金)に仕入れ先様の紹介で4組の親子、4月19日(金)、南区にあるデイサービスすまいるより18名様が、甲冑ミュージアムに来館されました。写真撮影をし、皆さん喜んで帰られました。来館頂き、誠にありがとうございました。

則武

麻雀

稲葉 友昭(森松産業)



最近、同級生達と麻雀をする機会が増えました。20代30代のころには会社帰りにまた休日前にはよく徹マンをしていましたが、ここ数十年は年に1~2回程度で最近は全くすることがありませんでした。きっかけは同窓会で懐かしい話やら近況を話している中で、ボケ防止には麻雀がいいという話がでて、それなら一度やろうかということになり早速メンバーを募りやるようになりました。やらなければそれで済むのですが、一度やるとなんとなくやりたくなり誰となくメンバーを募るようになり、今では定期的にやるようになりました。麻雀といえば酒を飲みながら、たばこを吸いながら、徹夜でといった悪いイメージがあり、若い人の麻雀人口は減っているそうです。しかし、「麻雀がボケ防止に良い」ということで高齢者はやる人が増えているそうです。高齢者向けの麻雀教室があったり、老人ホームでも麻雀を取り入れているところもあると聞きます。なぜ麻雀がボケ防止にいいかということ

まず手を動かす、アガリのルールを覚える、計算をする、仲間とのコミュニケーション等脳トレにいいとされています。今後もボケ防止として健全な麻雀を続けていこうと思います。

